

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業

津奈木町で買って、食べて応援しよう!

# つなぎ応援商品券 全町民に商品券1万円配布!

この事業は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一環として、町内の消費需要を喚起し、経済を回復させることを目的としています。



裏面記載の全取扱店で使えます



裏面記載の共通券・飲食店限定券取扱店で使えます

## 利用期間

令和2年 **11月1日**  ~ **12月31日** 

## 注意点

- ◎おつりは出ません。
- ◎次のような場合は、使用できません。

- ・換金性の高いもの（商品券、ビール券、図書券、切手、印紙、プリペイドカードなど）
- ・たばこ（電子たばこ含む）の購入 ※たばこ事業法で規定
- ・土地、家屋などの不動産、有価証券などの金融商品の購入
- ・現金との換金、金融機関への預け入れ
- ・国税、地方税や使用料などの公租公課
- ・その他つなぎ応援商品券の発行趣旨にそぐわないもの

### ◎対象店舗の最新情報◎

このチラシに掲載していない追加の取扱店舗は、町ホームページで随時更新しています。



↑対象店舗はのぼり旗が目印! ↑

問い合わせ 政策企画課 ☎78-3114 (内221)

## 大型個展に向けた作品を展示 柳幸典プロジェクト

9月19日(土)～11月23日(月)、つなぎ美術館では「柳幸典つなぎプロジェクト」の成果展が開かれています。来年、開館20周年記念の大型個展に向けた取り組みの一つで、地域の未来像をテーマにしたオブジェなどを展示しています。11月15日(日)にトークイベントが開催予定ですので、詳しくは26ページをご覧ください。



↑石の割れ目から詩の朗読が聞こえる「石霊の森」  
いしだま

## 冬の収穫が楽しみ! 津奈木中学校大根種まき体験

9月25日(金)、中尾地区の畑で津奈木中学校1年生39人が大根の種まきを体験しました。これは、町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、生徒に農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JAあしきた津奈木青壮年部と協力して行っています。この大根は無肥料・無農薬の自然栽培で育てられ、12月ごろに生徒たちで収穫し、寒漬大根を作ります。



↑大根の種をまく生徒。収穫が楽しみです

↓原田区長会長に手渡す前田水保市自治会会長(右)



## 被災地に届け、地域の思い 水保市自治会義援金贈呈

8月18日(火)、7月の豪雨災害で大きな被害を受けた被災地を支援しようと、水保市自治会から義援金が手渡されました。区長会長の原田茂人さん(桜戸)は「義援金をいただき、ありがたく思っています。今後とも区長会を通じ、水保市と本町がよりよい関係を築いていきたいです」と話していました。この義援金は被災者に届けられます。

↓「ZOOM」を使って交流する参加者



## ネットを使った会議を体験 オンライン活用セミナー

9月25日(金)、つなぎ文化センターでオンライン活用セミナーが行われ、15人が参加しました。これは、コロナ禍の新たな交流促進を図ることを目的として行ったもの。当日はオンライン会議アプリ「ZOOM」の操作方法や各地の先進事例を学び、実際に豊前市グリーンツーリズム研究会(福岡県)とオンラインで交流しました。

各行事などを撮影した写真や掲載した写真が欲しい人は、お気軽にお尋ねください。政策企画課 ☎78-3114 (内223) まで